

在宅療養を支える多職種向け研修会

今回のテーマ

「在宅領域における特定行為研修修了者の活動の実際と連携（仮）」

* 看護師の特定行為研修とは（厚生労働省 HP より）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001601875.pdf>

看護師の「特定行為研修」とは、医師の指示（手順書）に基づき、看護師が自律して行える高度な診療補助行為（特定行為）を標準化・体系的に学ぶための厚生労働省が定めた研修制度で、2015 年より開始されました。修了した看護師は医師の判断を待たずにタイムリーなケアを提供できるようになり、チーム医療推進と在宅医療などを支える人材育成が目的です。

研修会の趣旨

在宅療養者の QOL 向上には、医療的ケアが不可欠です。本研修会では、訪問看護師が現場でどのような判断を行い、他/多職種とどのように連携しているのかについて、特定行為研修修了者の活動の実際と実践事例を紹介します。これにより在宅看護現場のリアルをお伝えします

開催概要

日 時	令和 8 年 2 月 19 日（木）18:00～19:30
開催方法	Zoom によるオンライン研修
講 師	医療法人社団小羊会 高洲訪問クリニック 統括看護師長 田谷 美枝 氏 （特定行為研修修了〈創傷ケア関連〉）

対象者

医師、看護師、ケアマネジャー、訪問リハビリ、訪問介護員、福祉用具事業者

管理栄養士 他、在宅医療・介護に関わる職種

定員・参加費

定員：30 名程度（先着順）

参加費：無料

申込方法

Google フォームよりお申込みください。

申込 URL：https://forms.gle/HveEAKKs9nLTDXnd9



主催

看護協会ちば訪問看護ステーション（担当：箱崎）

プログラム

時間	内容	他
10 分	開会・趣旨説明（主催者）	
60 分	講義： 「在宅領域における特定行為研修修了者の活動の実際と連携（仮）」 ・ 特定行為研修修了者の活動と訪問看護の専門性について ・ 在宅で展開する医療的ケアについて ・ 他/多職種との連携について など	
15 分	質疑応答・他/多職種ディスカッション	
5 分	まとめ・閉会挨拶	

この研修の到達目標

- ① 特定行為研修修了者の活動を通して訪問看護の医療的ケアの現状を知る
- ② 多職種が連携して療養者を支える方策を共有する